

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム 光風の家

作成日 : 令和 3 年 2 月 15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	①運営推進会の構成委員の「地域代表者」が不参加であった。 ②事業所内での運営推進会議の公表が不十分であった。	①地域住民の代表が参加しやすい会議にする。 ②会議録を事業内で公表し、情報の共有と取り組みへの協力を得る。	①グループホームのありのままの取り組みを理解してもらう為に専門用語などを使わずに分かり易く「ビデオや写真など」を使用し、意見交換がしやすいようにする。 ②誰でも会議録が読めるようにホームの「たより」などに掲載。	3か月
2	7	①意見箱がない。 ②苦情対応についての対応結果の公表がなかった。	①利用者やご家族がいつでも意見や要望が言えるようにする。 ②意見や苦情などにどのような対応や事業所なりの考えをもっているかなど経過を分かり易く伝える。	①「意見箱」の設置理由をもっと明確にして活用するとどうなるかなどを説明する。 ②事業所内でも経過を掲示したり、ご家族へは「たより」等で周知する。	3カ月
3	13	①利用者の年1回の特定検診受診が不十分である。	①特定検診を年1回受けることができるよう取り組みの実施。	①検診を受ける際の体調確認や医療機関との連携、付き添いのタイミングなど、ご家族への協力依頼などへの調整を行う。	6か月
4	14	①利用者の食事の嗜好や食思などの確認が不十分であった。	①利用者の食事の嗜好や食思などを詳細に把握する。	①普段の日常会話の中から利用者の「好み」や食事に対する希望、要望などを聞いたり、味の確認などもできるだけ職員も同じものを食し、改善に努めるように工夫する。	3か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。